

## 来夏高校総体五輪後に

### 県、パラとの間で調整

県内を中心に開く来夏の全国高校総合体育大会(インターハイ)について県は29日、1年延期された東京五輪との重複を避けるため、総合開会式や県内開催競技の日程を見直し、五輪後に開く方向で調整していることを明らかにした。

来夏のインターハイは北信越5県で7月24日～8月20日の28日間で開く予定だった。県保健体育課全国高校総体室によると、東京五輪が来年7月23日～8月8日の開催となり時期が重なるため、県内開催分の日程を五輪後から8月24日の東

京パラリンピック開幕までの間で調整する。一部競技は開催が前倒しとなる可能性がある。他県も新たな日程を検討している。

この日の県会総務教育常任委員会で、豊北欽一県教育長は日程見直しについて「全国高体連、会場地市町、競技団体などの関係者と協議を行い、今年9月までに決定できるよう準備を進める」と報告した。

(宮崎翔央、牧野将寛)